

西予支部

1 研究主題と研究のねらい

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践
—教育の情報化の推進を通して—

2 研究内容

- (1) 日時 2019年7月30日(火)
- (2) 会場 三瓶小学校コンピュータ教室
- (3) 研修

① プログラミング実技研修

久保田温教諭を講師に、プログラミング言語の簡易言語である「Scratch」を使った実技研修を行った。

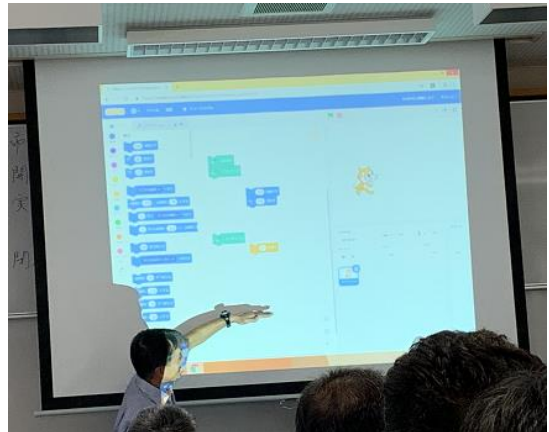
- ア 道から外れない車（ラインレース）
- イ 正多角形を描く（正方形、正五角形等）

ウ 輪唱（音楽を作成）

② 文書作成の実技研修

久保田温教諭と西予市情報教育コーディネーター國廣達也氏を講師として、今後校務用コンピュータの移行に伴う対応として「Word」を使用した実技研修を行った。

- ア 「一太郎」から「Word」への変換
- イ フォントや段落の設定
- ウ 文書作成における体裁の整え方
- エ 表の作成



【プログラミング実技研修】



【文書作成の実技研修】

3 成果と課題

(1) 専門研究委員会研修会について

- 2020年度から始まるプログラミング教育に向けて、準備や研究が進められている。文部科学省が作成した「小学校プログラミング教育の手引き」は必読であり、提示された多くのヒントを現場で生かしていかなければならない。また、小学校での履修内容が、中学校にもつながるように、小・中学校間の情報交換や連携が必要である。このような研修の場を生かしながら、系統性のあるプログラミング教育を実践していきたい。
- 「一太郎」から「Word」への移行は、本市における大きな課題であると言える。各教師の教育資源を効果的に児童・生徒に還元できるよう、「Word」へのスムーズな移行が必要不可欠となる。本研修会は、特に「一太郎」の使用が常態化している教師にとって有意義なものになったと思われる。また、「Word」の使用に長けた若手教職員が、先輩教職員を支援する場面が多く見られ、世代間の情報共有にもつながった。

(2) その他

- 本市小・中学校の普通教室では、プロジェクタ・スクリーン・書画カメラが常備されており、すぐに使える環境が整っている。授業におけるICT活用が進み、iPadの使用頻度が高まっている。使用頻度を上げるとともに、より効果的な活用法について研究を進めていきたい。
- 学校ホームページについては、令和元年度末をもって新システムへの完全移行となる。旧システムからのデータの引き継ぎ等はできないため、早めの取組が必要である。市内全校が新システムへスムーズに移行できるよう周知するとともに、移行や運用の方法などの情報交換ができるようにしたい。